

第44回八重山中学校陸上競技大会

1. 期 日 令和4年9月3日(土)
2. 場 所 石垣中央運動公園「陸上競技場」
3. 申込期日 令和4年8月22日(月)
4. 企画運営 陸上競技専門部
5. 運営責任者 池城 博史(陸上競技専門部長)
6. 競技の形式 各学校対抗競技とする。

(1) 種 目

- 《共通男子》 100m 200m 800m 1500m 3000m
110mH 4×100mR 走幅跳 走高跳 棒高跳(1年生除く)
砲丸投(5kg) ジャベリックスロー
- 《2年男子》 100m 1500m 4×100mR(2年生のみ)
- 《1年男子》 100m 1500m 4×100mR(1年生のみ)
- 《共通女子》 100m 200m 800m 1500m 100mH
4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(2.7kg) ジャベリックスロー
- 《2年女子》 100m 800m 4×100mR(2年生のみ)
- 《1年女子》 100m 800m 4×100mR(1年生のみ)

※ハードル競走について

	台数	高さ	ハードル間
110mH	10	91.4cm	9.14m
100mH	10	76.2cm	8.0m

※種目に関しては、10月に開催される沖縄県陸上競技大会(秋季陸上)の種目に準じて行うものとし、変更する場合もある。

(2) 参加制限

- 学校単位で1種目に2人出場できる。また、1人2種目までとする。(但しリレーは除く)
- 1年と2年種目を兼ねる場合、上級学年、異種目に出場できるが県大会への出場は出来ない。但し共通種目を兼ね推薦された場合は県大会へ出場できる。
- リレーは、AブロックとBブロックにわけられる。Aブロックに参加するチームは1校2チーム、Bブロックに参加するチームは1校1チームとする。(大規模校はAブロックに参加する。)
- 基準は在籍99名以下を小規模校とする。
- リレーにおいて小規模校は、同学年でなくても編成できる。但し、上学年チームに出場する。また、小規模校は近隣の学校との合同チームを編成することができる。但し、単独校としてリレーチーム(4名)を編成できない場合に限る。その場合は、得点に加算されない。上学年チームに出場すること。
- 登録申し込み以外に補員の用紙を設け、各学校5名までとする。補員以外の競技者変更は認めない。小規模校に関しては、登録内の選手から変更を認める。ただし、個人種目2種目までとする。

(3) 競技について

- トラック競技において、予選種目がある場合は、タイムレースで上位 8 位を決定する。
(100m、200m、100mH、110mH)

(4) 得点

- 各種目の得点は、一位 8 点、二位 7 点、三位 6 点、四位 5 点、五位 4 点、六位 3 点、七位 2 点、八位 1 点とする。
- 同点の場合は、第一位種目の数によって順位を決め、尚それによって順位が決まらない場合は第二位の数により、以下これに準ずる。
- 棒高跳び、砲丸投（男女）は非得点競技扱いとする。

(5) 表彰

- 一位～三位までを表彰する。
- 総合優勝、男子優勝、女子優勝に、それぞれ優勝旗を与える。
- 優秀選手賞（メダル）を与える。
※八重山新記録（タイ記録を含む）、大会新記録（タイ記録を含む）、個人種目で 2 種目優勝（400MR は含まない）に該当するもの。

(6) アスリートビブス

- アスリートビブスは、判定しやすいように胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目（棒高跳・走高跳・走幅跳）の競技者は、胸部または背部のみでもよい。
- 大きさは白布で縦 18cm×25.6cm（B5 版型）とし、黒字で番号を記入する。
- 基本ナンバー（個人番号）

富野	1～9	川平	10～29	崎枝	30～39	名蔵	40～59
伊原間	60～99	石垣	100～149	白保	150～199	二中	200～249
大浜	250～299	竹富	300～319	黒島	320～339	小浜	340～359
大原	360～379	船浦	380～399	西表	400～419	船浮	440～449
波照間	450～489	鳩間	490～499	与那国	500～549	久部良	550～599
八特支	600～630	石垣	630～649	石垣第二	650～669	大浜	670～689

※石中、二中、大中は、参加人数が規定のアスリートビブスの番号をオーバーした場合は、600 番台を利用する。（該当する場合は中体連事務局に事前に報告すること）

※一人参加の場合は若い番号をつけること。（基本ナンバーは若い番号）

- (7) 年齢に応じた学年の種目に出場することができる。また、学齢を越えた生徒は、共通種目のみに出場できる。

(8) 監督会 9月 2日（金）午後 5 時（陸上競技場 会議室）

(9) 選手集合は 8 時 15 分とする。

※選手名簿提出後、事故ある場合は、前日の監督会で申し出て選手を変更できる。但し、大規模校は、補員登録者以外の競技者変更は認めない。小規模校に関しては、登録内の選手から変更を認める。

出場競技者注意事項

1. 競技について

- (1) 競技は令和4年度日本陸上競技連盟規則に準じて行なう。
- (2) フィールドを横切らないことを厳守する。リレーなどレース終了後は特に注意する。
- (3) 召集時間は次のとおりとする。点呼に遅れた競技者は棄権とみなす。(本人が受付をする)

競技種目	召集開始時刻	召集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前
フィールド競技	50分前	30分前

- (4) 同時に2種目に出場する競技者は、「2種目同時出場届」を競技者係に提出すること。
- (5) リレーに出場するチームは、召集完了時刻60分前までにオーダー用紙を競技者係に提出すること。用紙は監督会議にて配布する。
- (6) 他の種目と兼ねて出場する場合は、その旨審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。競技が平行して行われる場合には、フィールド競技においては、ワンラウンドで他の種目に出場していた場合はパスと見なす。
- (7) 集合場所から競技場に行く時は、係員の誘導に従い規律ある行動をとること。
- (8) ナンバーカードは胸、背の両面に着実につける。(但し、棒高跳、走高跳、走幅跳は胸、背のどちらかにつけても可。)
- (9) 競技者変更は監督会議にて認める。(但し、大規模校は補員登録者の中から変更し、小規模校は登録選手から変更することができる)
- (10) 競技場におけるトラック、フィールド競技の順序はプログラム記載の通りとする。
- (11) 用具は会場備え付けのものを使用する。但し、棒高跳のポールは各自のものを使用する。
ジャベリックスローのターボジャブは主催者側で準備したものを使用する。
- (12) ジャベリックスロー及び走幅跳、砲丸投の種目においては、パスラインを以下のように設定する。パスラインをクリアできない場合は、記録を測定しないものとする。(競技時間短縮のため)
ジャベリックスロー : 共通男子 40m 共通女子 25m
走幅跳 : 共通男子 4m80 共通女子 3m50
砲丸投 : 共通男子 8m00 共通女子 7m00
- (13) 800mはオープンコースで行なう。(人数が17名以上の場合は2段スタートで行う)
- (14) 異義申し立ては、通告終了後15分以内とする。(所定の用紙、規則に従う)
- (15) 決勝進出は、予選上位8位とし、同タイムの場合は抽選とする。
- (16) スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下(段ピン)を使用し、フィールド競技も同じく、9mm以下(段ピン)を使用すること。
- (17) 8名以内の時は予選なしで決勝を行なう。その場合は決勝の時間帯で実施する。

(18) バーの上げ方は次のようにする。

	種目	練習	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	以後
男	共通走高跳	1.40m	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.78	3 cm単位
	棒高跳	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	3.20	3.30	10 cm単位
女	共通走高跳	1.15	1.20	1.25	1.30	1.33	1.36	1.39	1.42	1.45	3 cm単位

(19)同成績の場合に措ける第一位決定のためのバーの上げ下げは、追加試技1回した後次の様にする。

《 走高跳 2 cm 棒高跳 5 cm 》

2. 表彰について

その種目の決勝終了後ただちに表彰を行なうので、三位入賞者は係の誘導に従い、表彰者集合場所に控えること。(服装はユニフォームを着用のこと)

3. その他

(1) 応急処置は本部医務係(救護)が行なう。それ以上の責任は負わない。

(2) 大会役員、競技役員、競技者以外は競技場内に入ってはならない。

(写真係は1校1名とし、本部で準備の記章を胸につけること)

(3) 入退場について

【開会式】

① 競技者のみバックストレッチより横一列に並び、係の支持に従いプラカードに続いて入場する。

② 服装は、ユニフォーム(競技の服装)とする。

③ 退場は、プラカードに続いて控え席に戻り一礼する。

【閉会式】

① その場で整列する。(開会式の並び方)

② 服装は下(ジャージ)とし、上は、ユニフォームか学校で統一したものとする。

③ 退場は、その場解散とする。

(4) 下記事項の指導の徹底をお願いします。

○短距離でのフライングが多い(静止ができない)

○召集完了時刻に遅れないように(場所の確認)

○スパイクのピンは、必ず9mm以下の2段ピンを使用する。

○バトンパス(テークオーバーゾーン)の指導。

○ユニフォーム下(ランニングパンツ)の下からスパッツの重ね着をしない指導。

(5) リレー競技の県大会派遣について

①原則優勝校は単独で県大会へ出場すること。

②Bチームについては、100m走の結果を参考に選考を行う

※ただし、両チームとも補員のみでの県大会参加は認めない。

(6) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めたもので、地区・県に登録されたものとする。